

地域の「環境」「活力」「安全・安心」 を支える道路整備が必要です。

ラグビーワールドカップ2019大会会場
(豊田スタジアム)



ものづくり中枢都市
(燃料電池車ミライの製造ライン)



平成28年8月

豊田市幹線道路整備促進協議会

当市のある西三河地方は、ものづくり産業の中心として日本の経済発展を支えてきた地域であり、今後もその責務を果たしてゆくべき地域です。また、近い将来、南海トラフ地震等の大規模地震の発生が確実と言われる地域でもあることから、国際競争力の強化を始め、防災・減災対策、老朽化対策等の取組が急務です。

このような中、道路は、災害時における避難路・物資等の輸送路であると同時に、環境にやさしく活力ある都市として持続的な発展を実現する重要な社会基盤です。

今後も地方が真に必要なとする道路整備を着実に推進し、道路ネットワークの構築を図るなど、生産性を向上させることこそが、安全・安心な暮らしの確保、国際競争力の強化、地方創生、日本経済の活力・成長となるものと考えます。

また、当市は、2019年ラグビーワールドカップ日本大会の開催都市であり、現在、開催に向けた取組を推進するとともに、これを契機とした地域交流・地域活性化、都市の国際化に向けた取組を推進しています。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 道路整備に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、地方が真に必要なとする国道、県道、市道のいずれもが着実に整備されるよう、平成29年度に必要な予算の確保、並びに必要な予算を安定的・持続的に確保すること
- 2 災害に強い、安全・安心な暮らしの確保、産業・経済活動を支え、経済の好循環による国際競争力の強化、人流・物流の効率化による生産性の向上などストック効果を最大限に発揮する道路整備を計画的かつ着実に推進すること
- 3 ラグビーワールドカップ2019開催に向け、安全で円滑な輸送、来訪を可能とするためにも、アクセス道路や主要渋滞箇所の早期改善に資する事業中路線の2019年早期完成を図ること

都市の持続的な成長を実現する道路整備

人流・物流の効率化による生産性の向上・定住促進を図るため、
また、円滑な物資輸送の代替路確保、安全・安心を実現するため、**豊田南・北バイパスの早期整備が必要です。**

交通課題

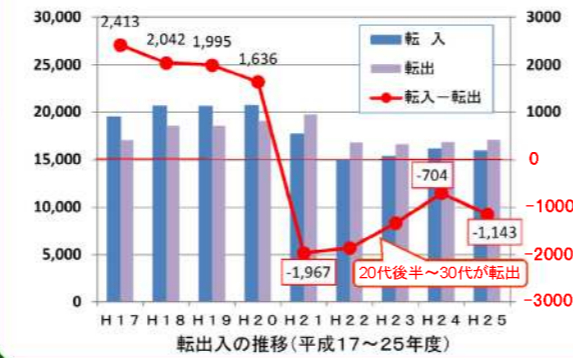
市街地の多くの渋滞が
円滑な市民生活・企業活動を阻害

通勤時の渋滞解消・時間短縮が必要



豊田市が直面する課題

■家族形成世代の転出超過



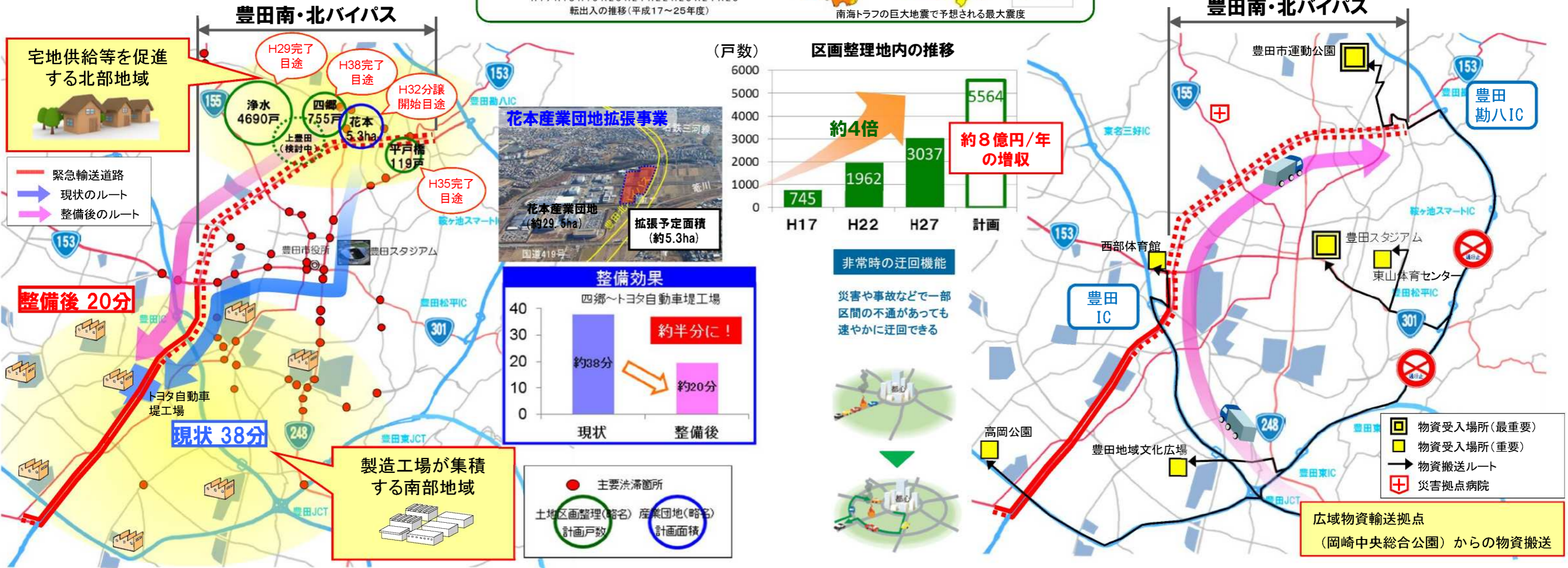
■巨大地震への備え



交通課題

緊急輸送道路における
物資輸送の代替性が欠如

非常時のリダンダンシーが必要



愛知県・豊田市は、2019 (H31) ラグビーW杯日本大会の開催都市です。

豊田勘八ICから豊田市駅前への円滑なシャトルバス運行を実現するため、豊田北バイパスの早期整備、早期供用が必要です。

交通課題

- ① 主要渋滞箇所が円滑なシャトルバス運行を阻害
- ② 渋滞が原因と考えられる追突事故が多発

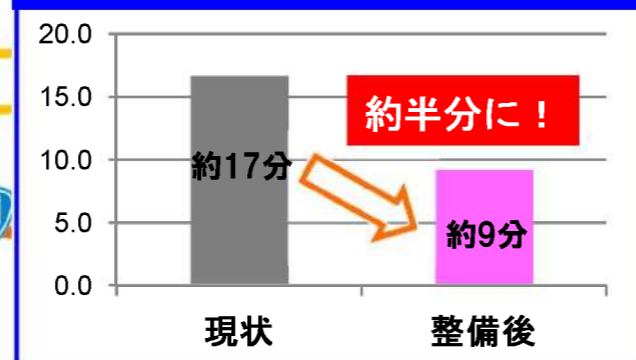
シャトルバス運行ルートと周辺の交通課題



S41 猿投ダンプ事故発生箇所!



整備効果



- ・中心市街地での滞在時間が増加
- ・移動時間短縮によりシャトルバス利用が増加

追突事故多発箇所 (Explosion icon) ● 主要渋滞箇所 (Red dot icon)

渋滞箇所 (Red arrow icon)

ラグビーW杯を契機とした地域交流、地域活性化



愛知県会場	: 豊田スタジアム
収容人数	: 最大45,000人
開催予定時期	: 2019年(H31)9月~10月

シャトルバス運行検討に伴う想定
 試合数 : 4~6試合
 試合時間 : 平日19時 又は 休日14時、休日19時
 その他 : 試合終了から概ね2時間で輸送を完了、市外からの来訪者が9割

観戦者の消費 **7億4千万円**

経済波及効果※ **27億~38億円**

出典: 豊田市教育委員会資料
 ※経済波及効果は、2次波及効果(運営や観客等の消費によって所得増の人の消費も含めた効果)である

中心市街地一体をミライのフツーを目指す豊田市のショーケースとして世界に発信!

市街地再開発(H29完成予定)

- 駅前ファンゾーン (ファンゾンの様子 (イギリス大会・クロースター))
- 公共空間活用
- とよたエコフルタウン
- 燃料電池バス
- 豊田スタジアム
- パーソナルモビリティ (ウイングレット)
- スカイホール豊田
- とよた Ecoful Town
- 豊田産業
- 豊田市役所
- 豊田総合館
- コメ・スクエア
- 松坂屋
- T-FACE
- 北地区再開発事業
- 産業と暮らしの発見館
- 緑の環境都市輪 (スタジアムアベニュー)

シャトルバス運行ルート、ファンゾーン会場位置は、現在の豊田市の想定案であり、今後設立される組織委員会にて協議の上、決定される見込みです。

環境にやさしく都市機能を高める主要幹線道路ネットワークの整備

環境にやさしく活力ある都市として今後も持続的に発展していくため、既存高速道路ネットワークを有効活用した産業拠点の拡大や住宅開発など、新たな市街地の誘導を促進し、災害時や救急救命時の活動を支える環状・放射道路を中心とした利便性の高い道路ネットワークの構築が必要です。



RWC 2019 ラグビーワールドカップ2019に向け
早期整備が必要な路線

[主要事業]

国道153号豊田北バイパス 新豊田プロジェクト
RWC 2019 ■ 上原町～扶桑町
 ■ 逢妻町～上原町
国道155号豊田南バイパス
RWC 2019 ■ 東新町～逢妻町

(都)豊田刈谷線 新豊田プロジェクト
 □ 本田町～西岡町

一般県道宮上知立線((都)豊田刈谷線) 新豊田プロジェクト
 ◇ 西岡町～中田町

主要地方道名古屋岡崎線 新豊田プロジェクト
RWC 2019 ■ 吉原町～和会町
RWC 2019 ◇ 生駒町横山～東山 6車線化

国道419号 新豊田プロジェクト
 ◇ 上原町～西中山町 4車線化

豊田スタジアム
 (ラグビーワールドカップ開催会場)


国道419号
 (社会資本整備総合交付金)
 ■ 陣中町～上原町

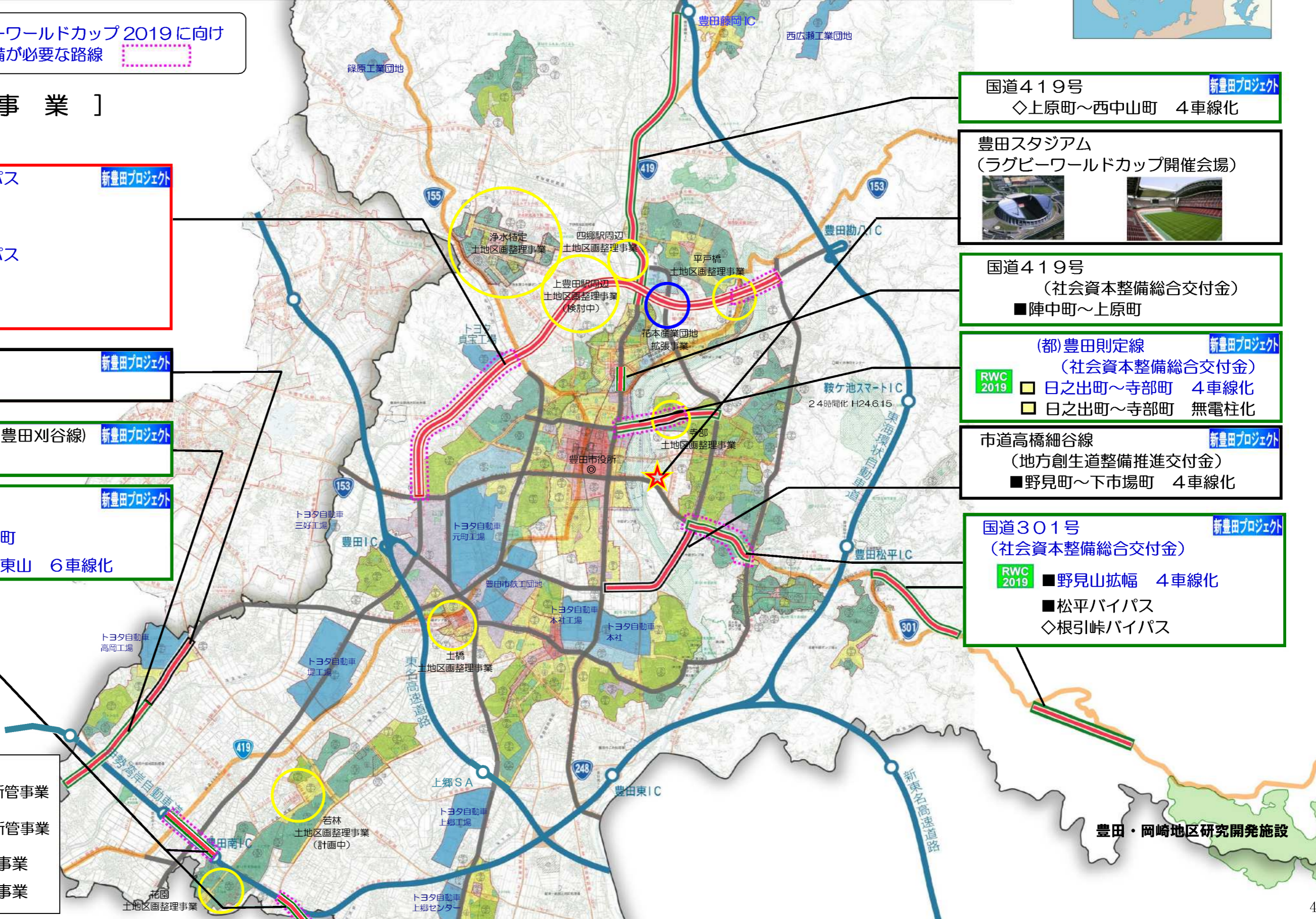
(都)豊田則定線 新豊田プロジェクト
 (社会資本整備総合交付金)
RWC 2019 ■ 日之出町～寺部町 4車線化
 ■ 日之出町～寺部町 無電柱化

市道高橋細谷線 新豊田プロジェクト
 (地方創生道整備推進交付金)
 ■ 野見町～下市場町 4車線化

国道301号 新豊田プロジェクト
 (社会資本整備総合交付金)
RWC 2019 ■ 野見山拡幅 4車線化
 ■ 松平バイパス
 ◇ 根引峠バイパス

- 土地区画整理事業等
- 産業団地拡張事業

- 凡 例
- 国事業
 - 県事業
 - 市事業
 - 道路局所管事業
 - 都市局所管事業
 - 市単独事業
 - ◇ その他事業



豊田・岡崎地区研究開発施設

国際競争力・都市間競争力の強化に向け、更なる産業の活性化を図る新たな産業拠点へのアクセス道路の整備が必要です。

[主要事業]

RWC
2019

ラグビーワールドカップ2019に向け
早期整備が必要な路線

豊田・岡崎地区研究開発施設へのアクセス道路整備

○現在、下山地区で進められている豊田岡崎地区研究開発施設事業は、豊田市にとって更なるものづくり
中枢都市として維持・発展するために、重要な事業

○施設への**主要なアクセス道路となる国道301号の整備は最優先しなければならない事業**

豊田・岡崎地区研究開発施設の完成予想図



用地造成の状況 航空写真 (H27.3撮影)



県道東大見岡崎線の整備状況



■国道301号の整備

①野見山拡幅

RWC
2019

②松平バイパス

③根引峠バイパス



①野見山拡幅 (交通渋滞の様子)
(写真A方向)



豊田・岡崎地区研究開発施設
事業面積 650.8ha
予定従業員数 3,850人
平成29年 一部施設建設工事着手予定
平成32年度 一部施設操業予定
東工区、中工区 用地造成工事中



豊田・岡崎地区研究開発施設(中工区)
起工式 (H25.8.24)

広域的な危険物輸送、地域間における災害時や救急救命活動時の物資や人の搬送等を支えるため、ボトルネックの早期解消が必要です。

国道153号伊勢神改良 ～狭隘トンネルと雨量規制区間の早期解消～

国道153号は、名古屋-飯田間の危険物輸送における唯一のルート！ 広域交流を支える重要ルート！

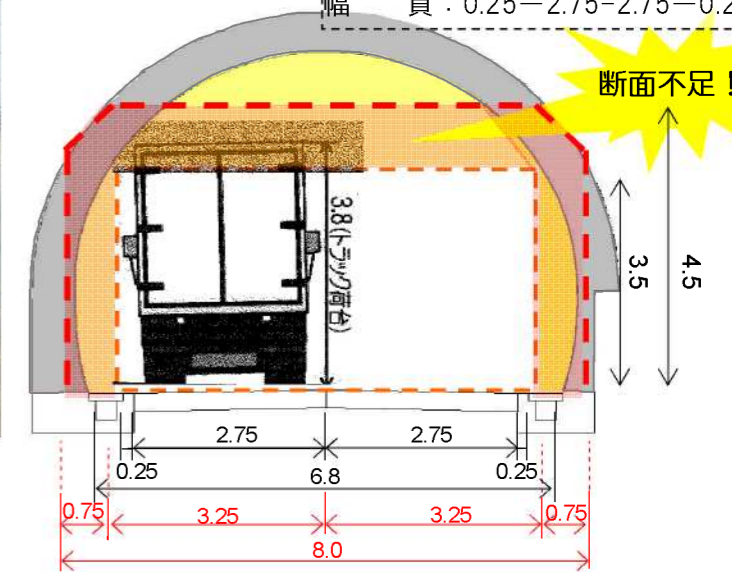


中部地方整備局管内の直轄国道で唯一の高さ制限(H=3.5m)が存在！

伊勢神トンネル



大型車は中央線をはみ出して走行



【概要】

完成	昭和35年7月
	(旧日本道路公団施工)
延長	1,245m
車線数	2車線
幾何構造	昭和33年旧構造令相当
幅員	0.25-2.75-2.75-0.25

国道153号は、稲武地区から豊田厚生病院(3次救急医療施設)への重要な搬送ルート！



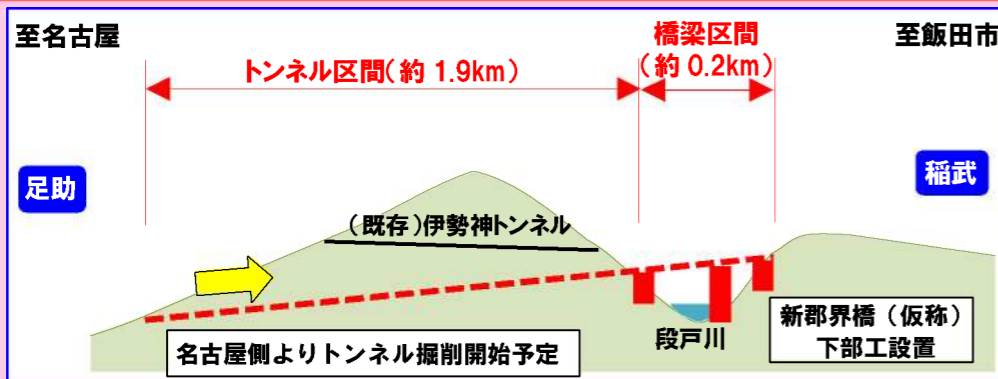
緊急輸送道路において、降雨量による道路交通規制区間が存在！



台風18号(H25.9)により約8時間の通行止め！

愛知県内の直轄国道で唯一の異常気象時通行規制区間(連続雨量150mm)が存在！

トンネル本体工事 早期着工



伊勢神迂回路建設工事安全祈願祭を開催(平成27年6月14日)



地域の声

国道153号は、地域医療を担う足助病院への唯一の道。天候による通行止めが解消され、いつでも病院に行くことが可能になる、まさに命の道です。

市民の安全・安心を確保する道路整備

市民の日常の暮らしを支え、安全・安心を確保するため、交通安全・渋滞対策など、道路交通環境の整備が必要です。

[主要事業]

交通安全対策・渋滞対策

○通学路における歩道整備や渋滞・事故の主な原因となっている交差点の改良などの交通安全対策・渋滞対策が必要

- 国道419号の整備
 - ・迫八反田交差点改良
 - ・藤岡飯野町交差点改良



右折レーンの無い事故多発交差点
(国道419号：迫八反田交差点)

最大
渋滞長 約1400m
通過時間
最大 約11分



朝夕の交通集中による渋滞
(国道419号：藤岡飯野町交差点)

観光振興を支える道路整備

地域間の連携と交流を促進し、観光産業の発展を図る道路ネットワークの整備が必要です。

[主要事業]

観光資源の連携強化を図る道路整備

○中山間地域の豊かな自然、歴史、文化等、豊富な観光資源を活かした、観光資源の連携強化を図る道路整備が必要

- 国道420号バイパスの整備
- 主要地方道足助下山線の整備
- 国道153号伊勢神改良



国道153号沿線地域を
「日本風景街道・新しさからなつかしさ塩の道～中馬街道～」
として登録(平成19年11月登録)

至 飯田

至 岡崎

足助の歴史的町並み
(豊田市足助伝統的建造物群保存地区)

紅葉時の香嵐渓
(平成27年度の年間来訪者数約89万人)



市民が安全・安心して利用し続けられる道路インフラの老朽化対策

市民が安全・安心して利用し続けられる道路インフラを確保するため、**国道、県道、市道のいずれもが着実にメンテナンスサイクルを回せるよう予算の確保が必要です。**

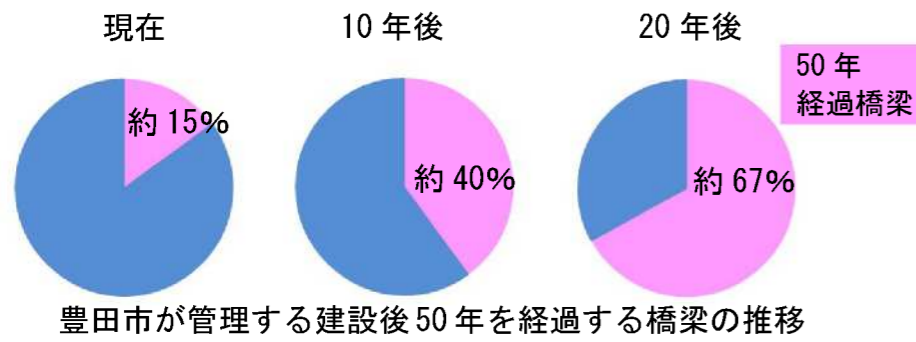
また、点検・診断・補修等の財政措置の充実、点検・診断システムの拡充など、**引き続き総合的な支援が必要です。**

■豊田市の予防保全が必要な道路インフラ

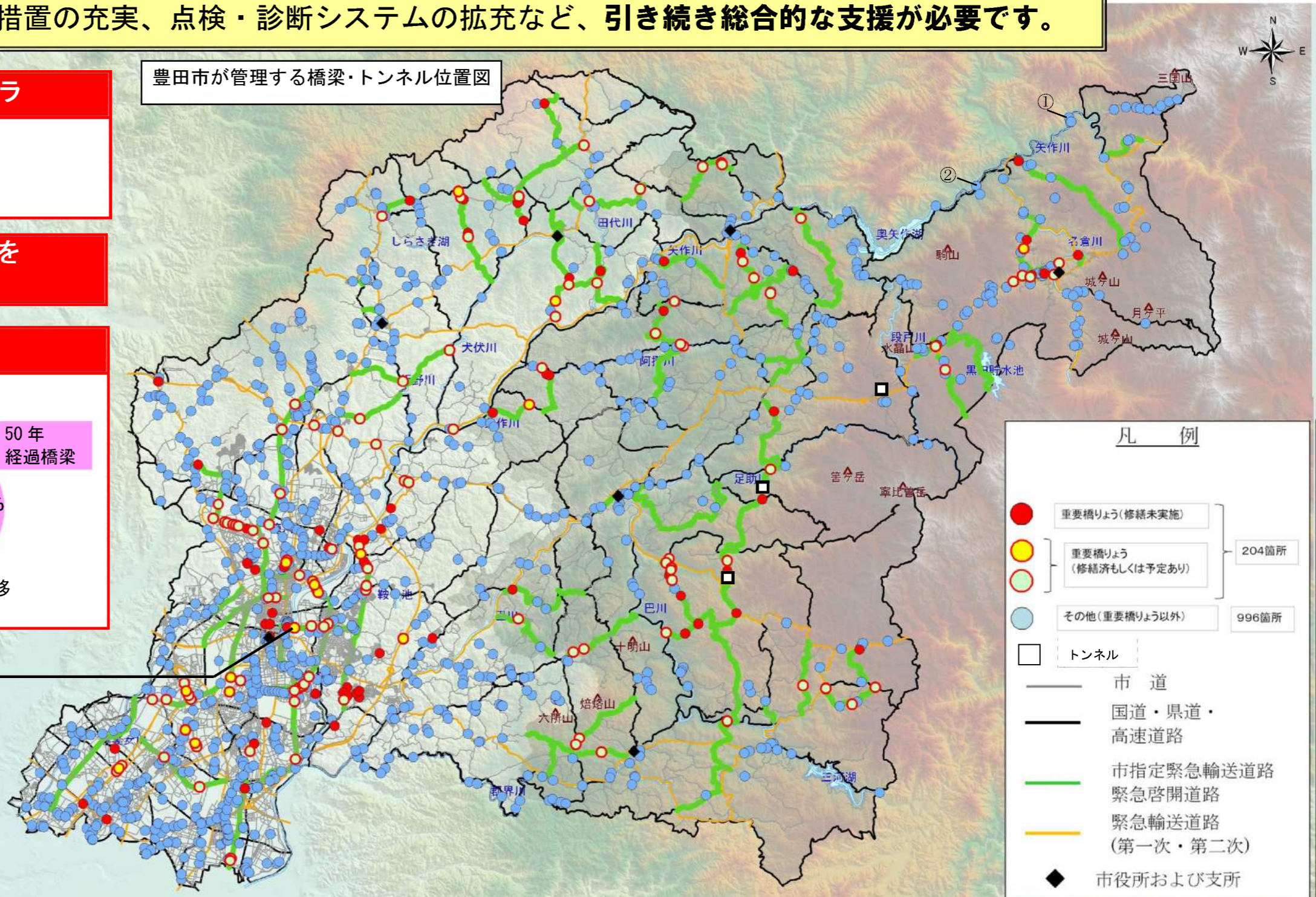
道路管理延長：約 2,500 km
 橋梁数：約 1,200 橋
 トンネル：3 箇所

■平成24年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、老朽化対策を推進中

■急速に進行する橋梁の老朽化



豊田市が管理する橋梁・トンネル位置図



■平成記念橋
 (防災・安全交付金)
 ・橋梁修繕、耐震補強

■東梅坪線ほか6橋
 (防災・安全交付金)
 ・橋梁修繕、耐震補強



平成記念橋

■梅坪歩道橋ほか1橋
 (防災・安全交付金)
 ・歩道橋修繕

■橋梁長寿命化修繕計画
 (防災・安全交付金)
 ・点検



昭和34年開通(55歳)の橋梁



昭和43年開通(46歳)の橋梁



床版の剥離、鉄筋露出



支承部の損傷

地域の「環境」「活力」「安心・安全」を支えるために 必要な道路整備



平成28年 8月 2日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会 長 豊 田 市 長
 太 田 稔 彦

豊田市議会議長
 近 藤 光 良

豊田商工会議所会頭
 三 宅 英 臣